

じどうかんニュース

～ きまりよく なかよく げんきに かつどうしてほしい ～



2025年2月25日発行 第12号
発行者 能生児童館 館長 猪又英一



せつぶんまめ

節分豆まき

がつついたち

2月1日(土)



保護者がまく豆やお菓子を元気に拾い集める
子どもたち(能生児童館)

糸魚川タイムスに
掲載されました

園児や小中学生
“心の鬼”を退治
能生児童館

の1日、館内で豆まき
を行った。
園児や小中学生、保
護者ら約60人が参加
し、保護者の中から4
人がまく役を引き受け

て豆やお菓子を一言に
まいた。子どもたちは
夢中で拾い集め、それ
ぞれ鬼の絵を描いて用
意した袋の中をいつば
いにしていた。

能生小1年の老野生
和樹君は「楽しかった。
たくさん取れて良かつ
た」と喜んだ。
鬼の顔をパネルにし
たストラックアウト
ゲームも行われ、「う
そつきおに」「なまけ
おに」などの的をボー
ルで打ち抜き、心の中
の鬼を退治した。

じもと このうら ちく つた おに むかしばなし よ き お だ おに たの
地元の木浦地区に伝わる「鬼」にちなんだ昔話の読み聞かせや追い出したい鬼のストラックアウトゲームを楽
しんだ後、「豆まき」では、子どもたちはチョコやあめ玉、落花生を袋いっぱい拾い集めていました。50人以上
の皆さんから参加いただき、楽しく、にぎやかに 行うことができました。「おこりんぼ鬼」「いじわる鬼」「うそ
つき鬼」……。子どもたちが心の中の鬼を追い出し、健やかに育っていってくれることを祈ります。

ひなまつり 2月22日(土)



そと ゆきげしき みな さんか えほん
外は、あいにくの雪景色でしたが、たくさんの皆さんが参加してくださいました。ひなまつりにちなんだ絵本の
よ き たからさが たの あと じどうかん
読み聞かせやクイズ、「ひなまつり宝探しゲーム」などで楽しんだ後は、児童館からの「ひなあられ」のプレ
ゼント。プレゼントを配るころには、降っていた雪もピタリとやみました。春に向けた明るく楽しい時間を過ご
し、児童館は子どもたちの笑顔でいっぱいでした。子どもたちの健康と幸せをこれからも願っています。